

関わりチェックシート ガイド

個別の児童生徒との日頃の関わりの頻度や関わり方を振り返り、定期相談で見せるその子の姿の理解に生かします。



これから面談する〇〇さんとの日頃の関わりを振り返ってみましょう。

日頃の関わりの頻度や度合いに偏りはないですか？



接触（関わり）の機会が高いほど、好意度や印象が高まると言われています（単純接触効果）。

学習や行事のようなフォーマルな関わりばかりでなく、何気ない声かけや雑談等のインフォーマルな関わりが個別にあると、よりいっそう距離が縮まります。

どんなところを「認めて」いますか？～存在の承認を～



存在承認

そこにいることに気付いて、存在そのものを認めること



変化承認

よい方向に変化したことを認めること



成果承認

成果や結果を認めること

評価の側面があります

子供から見ると、教師は自分を「評価する」存在でもあります。

日頃、教師から認められる場面が「よいところ」ばかりだと、教師にいつもよく見られたいという思いを強くしてしまうかもしれません。

自分の弱さや悩みに気付くことは、その子の内なる強さでもあります。「イライラしているんだね。そう感じることは自然なことだよ」など、「評価」から離れ、そのままを認められた日頃の経験が、安心感につながります。

コラム

多くの子供たちが先生は自分のよいところを認めてくれていると感じています。だからと言って、子供は「困りや不安を先生にいつでも相談できる」という気持ちにはならないことが分かります。

表 令和7年度全国学力学習状況調査質問紙より 富山県（ ）は全国比

肯定的な回答の割合	小学校	中学校
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	91.9% (-0.3%)	90.6% (-1.6%)
困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	72.6% (+2.0%)	73.7% (+0.5%)